

# 新校舎落成記念事業「地域防災リーダー育成事業」

## 「地域防災リーダー育成のための視察」 報告

### 1 事業内容

- ① 地域防災リーダー育成のため先進地（広島原爆ドーム・平和記念資料館・人と防災未来センター）視察を行う。
- ② 広島の被爆体験、阪神淡路大震災の被災体験をどのように後世に伝えてきたか、その活動の継続や伝承の思いや方法について学ぶ。
- ③ 広島ロイヤルライオンズクラブを訪問し、今までの支援の御礼と共に、今後の継続的な相互交流について確認する。
- ④ 西日本豪雨で被災した倉敷市立真備陵南高等学校を訪問して、義援金と応援メッセージを渡し交流を行う。
- ⑤ 兵庫県立豊岡総合高等学校を訪問して、今までの支援の御礼と共に、双方向の交流を行い、今後の継続的な相互交流について確認する。
- ⑥ 尼崎市立琴ノ浦高等学校を訪問して、今までの支援の御礼と共に、双方向の交流を行い、今後の継続的な相互交流について確認する。
- ⑦ 視察後に記録や報告等をまとめ、視察内容等をHPで公開したり、全校生徒に伝えたりする機会を設定する。
- ⑧ 今年度は落成記念事業としてスタートし、次年度からは教育振興会予算に項目を設けて継続事業に育てて、本校教育活動の目玉にする。

### 2 目的

- ① 防災意識・知識を向上させるために広島・岡山・兵庫の各施設や高校を視察・訪問することで、学校・地域の防災リーダーの育成につなげる。
- ② 今まで支援をいただいた広島ロイヤルライオンズクラブ・兵庫県立豊岡総合高等学校・尼崎市立琴ノ浦高等学校を訪問し、現状を報告すると共に今後の双方向交流について確認する。
- ③ 西日本豪雨で被災した倉敷市立真備陵南高等学校を訪問し、義援金と応援メッセージを渡し交流を行う。

### 3 視察メンバー

- ① 引率者：校長・岸・鈴木瑛 3名
- ② 参加生徒：5名 2年 産業経済科 千葉晃世・佐々木美日向・鈴木このみ  
(生徒会) 1年 産業経済科 菅原優奈・機械技術科 熊谷 樹

### 4 日程

- ① 日程 1月15日（火）～18日（金） 3泊4日

#### ② 行程

- 1日目 気仙沼→一関→東京→広島 原爆ドーム・広島平和記念公園見学→広島RLC
- 2日目 広島平和記念資料館→倉敷 倉敷市立真備陵南高等学校→三ノ宮
- 3日目 1. 17のつどい→人と防災未来センター→  
Aチーム（岸・生徒3名） 豊岡 兵庫県立豊岡総合高等学校→三ノ宮  
Bチーム（校長・鈴木・生徒2名） 尼崎 尼崎市立琴ノ浦高等学校→三ノ宮
- 4日目 神戸市内→東京→一関→気仙沼

## 5 報 告 『生徒のレポートから』

### 1日目 広島原爆ドーム・平和記念公園見学

広島についてすぐ、広島平和記念公園を散策し、「原爆ドーム」「平和の鐘」「原爆の子の像」「原爆死没者慰霊碑」などを見学した。そして、改めて核兵器・戦争の恐ろしさ・平和の大切さについて考え、学ぶことができた。

『実際に原爆ドームを見て、教科書の写真ではよく分からなかった建物の壊れた部分がはっきりと見えて、原爆の恐ろしさを感じ、もう二度とこんなことがあってはならないと強く感じた。』  
『当時そのままの状態に残っていて、教科書で見たり人の話を聞いたりするよりも何か圧倒されるものがあった。』

『広島は原爆が落とされ、大きな悲しみから立ち上がった町なので、平和への意識が他の場所よりも高いと感じました。また、原爆ドーム等の遺構を残すことによって、悲惨な戦争を繰り返してはならないと強く伝わってきました。』



### 1日目 広島ロイヤルライオンズクラブとの会食

夕食を取りながら広島ロイヤルライオンズクラブの会員の皆様と交流をした。クラブからは野地会長をはじめ10名の会員の方々に参加していただいた。我々は自己紹介をした後に、今までの支援の御礼等を伝えた。クラブからは自己紹介の後に震災後の支援のいきさつや気仙沼との関わり、今後の交流のあり方等についてお話しをいただいた。生徒には励ましの言葉もいただいた。様々な話が出て大変盛り上がり、深い交流をすることができた。

『これまでのご支援に直接感謝することができて良かったです。』

『自己紹介の時に自分の通っていた幼稚園とのつながりがあったことも知り、さらに深く交流することができたと思います。』

『今までの支援に感謝を伝えることができ、とても良かったと思います。また、広島ロイヤルライオンズクラブの皆様が明るく接してくれて、とても楽しい会食でした。』



## 2日目 平和記念資料館見学・被爆体験伝承講話の聴講

2日目午前中は国立広島原爆死没者追悼平和祈念館見学の後に、広島平和記念資料館を見学した。原爆・平和について学習すると共に、被爆体験伝承者が原爆被害の真実や被爆者の体験等を語る「被爆体験伝承講話」を聴講することができた。講話後、講師の若山様から伝承への取組、熱意、平和の大切さなどを直接学ぶ機会もいただき、被災体験の継承の大切さも学ぶことができた大変貴重な機会となった。

『当日の写真・現物・体験談などで、教科書では絶対に知ることができないことを学ぶことができた。そのときの現状や悲痛な体験を見て言葉を失った。』

『講話について、今被爆者が年々減ってきている中で、その中の一人から伝え聞いたことを鮮明に伝えていたと思いました。「屋根にいた兄が飛ばされた」など、実体験ならではの語りで信じがたい光景が広がり、平和とは何かを考えさせられる内容だと感じました。』

『当時の状況やその後の苦しみが生々しく感じられました。また、戦争からの復興の大変さ、苦労、その人たちの思いに触れることができて良かったです。今後、自分たちが震災を語るうえでどうすれば良いのかなども学ぶことができました。』



## 2日目 倉敷市立真備陵南高等学校訪問

2日目15:30より倉敷市立真備陵南高等学校を訪問した。吉備真備駅から報道関係者・テレビカメラが待ち構え、その中を教頭先生や生徒会の生徒から、学校周辺の被災状況の説明を受けながら学校へと向かった。周辺地域全体が1階まで浸水跡が残り、まだまだ修理されていない状況であった。学校も校舎1階・体育館が使用できず、校地内に建設された仮設校舎にて交流会を行った。特に真備陵南高校からは7月に本校が送った募金が復興の支えになったことのお礼をされた。学校長挨拶・義援金、メッセージボード贈呈式・本校の学校紹介・真備陵南高校から生徒会活動の説明、そして3班に分かれてのワークショップを行った。「防災のため・被災した地域のためにできること」というテーマで行い、両校とも活発な意見が出て、大変有意義な交流をすることができた。この訪問は地元新聞やNHK岡山等でも大きく報道された。

『駅から学校まで歩いて行く中で、被災状況をこの目で見ることができ、私の目には津波の傷跡に近いものを感じました。』

『スライドで真備陵南高校の生徒が校舎の泥の清掃や地域のゴミ拾い、植栽活動など活躍し、自ら行動している姿を見て素直に感動した。自分たちも被災しているにも関わらず、地域のために行動している姿はかっこいいと思った。』

『交流の中で震災時の私自身の体験や真備陵南の生徒の体験を共有でき、今後の防災について自分たちのできることは何かを明確にすることができたと思います。今回に限らず今後もこのような交流を通して、次の代にも防災の大切さを学んでほしいと思います。』



### 3日目 1. 17の集い

3日目は阪神淡路大震災から24年目のメモリアルデーのため、最初に「阪神淡路大震災1.17のつどい」に参加し、献花・ろうそくへの点灯を行い、震災でお亡くなりになられた方を追悼すると共に、次世代への継承を学んだ。

『24年前に神戸の町を大震災が襲ったことを忘れずに、後世に伝えていくんだという気持ちを強く感じる集いでした。神戸の町も私たちも、将来に体験を伝え、減災防災に取り組むことが大切だということを改めて痛感させられました。また、全国からのメッセージがたくさん届けられていることから、人と人とのつながりも忘れてはいけなかったと思います。』



### 3日目 人と防災未来センター見学

1.17のつどい参加後に、人と防災未来センターを見学した。当日はメモリアルデーのため、大変混雑しており、会場周辺では様々な防災関連行事が催されていた。多くの防災関係団体が模擬店を出していた。人と防災未来センターでは生の語り部と視覚教材を通じて、阪神淡路大震災を体験した人々の思いや人生に直接触れることができた。特に震災の語り部を聴くコーナーでは、その強いメッセージ性のある語りにより、涙ぐむ生徒も見られた。その後2班に分かれ、A（豊岡）チームはすぐに移動した。B（琴ノ浦）チームは会場周辺を見学、防災を学習し、兵庫県立舞子高等学校など多くの人と交流をすることができた。

『私は語り部さんの、周りの人々の防災意識の低さや「大丈夫だろう」という考えによって、自宅周辺のほとんどの家が崩れてしまい、多くの犠牲者が出て深く落胆して傷ついたという話と、その想いを伝えたいという情熱ある語り口から、自分自身の震災体験を思い出し、共感して、涙を流してしまいました。しかし、そこからでも、また未来へ踏み出せるという強い心を学ぶことができました。』

『当時のがれきや体験談の展示を見て、当時の大変な状況が伝わってきました。また、当時実際に体験した本人の話を聞き、さらに鮮明に伝わってきたと共に、助け合いの大切さをすごく感じました。』



### 3日目 Aチーム：兵庫県立豊岡総合高等学校訪問

校長室にて今までの支援の御礼を述べ、本日の流れを確認した後に、歓迎式を行っていただきました。歓迎式では吉田校長先生の挨拶の後に、双方の生徒代表が挨拶を行った。歓迎式後に生徒は生徒会・インターアクトクラブの生徒とミニチュアランドセル製作の交流を行った。時間をオーバーするほど和やかな雰囲気での交流をすることができた。引率した岸はそのまま約50名程度の職員を対象とした防災に関する校内研修の講師を務めた。「東日本大震災で見たこと・経験したこと・伝えたいこと」というタイトルで本校の震災当日の避難行動と状況を中心に講話をした。最後に今後の交流についても確認し、インターアクトクラブが夏に気仙沼を訪問したいとの話も出てきた。

『これまでの支援の感謝を伝えることができ良かったです。また、ミニチュアランドセル作りで直接交流ができて楽しかったです。今後も両校で良好な関係を築ければと思います。』

『生徒会とインターアクトクラブの皆さんに教えてもらいながら、春にいただいたミニチュアランドセルを作りました。作りながら互いの学校や自分自身のことを話すことができ、とても良い交流でした。今後もこのような生徒同士の交流を持ち続けることが大切だと思いました。』

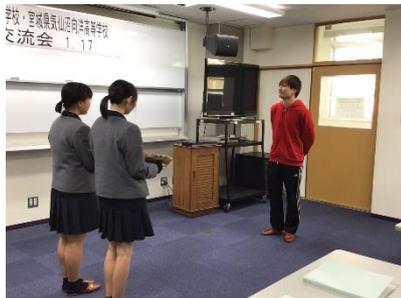


### 3日目 Bチーム：尼崎市立琴ノ浦高校訪問

初めに交流会として今までの支援への御礼を伝えた後に、互いに自己紹介をした。その後、琴ノ浦高校生徒会生徒が防災ジュニアリーダーとして大川小学校等に訪問したことの発表・本校の学校紹介、尼っ子（尼崎）クイズ、記念品贈呈式を行った。琴ノ浦高校職員も生徒会生徒も皆明るく、大変盛り上がり、心温まる交流をすることができた。最後は学校周辺を散策し、皆笑顔での記念撮影をしてお別れをした。

『琴ノ浦高校の発表で実際に被災地に行った時の素直な感想を聞くことができ、勉強になりました。また、クイズの最中や交流会のあとに会話をすることができ、とても楽しく交流をすることができたので今後も続けたいと思います。』

『防災プログラム参加発表から、震災を経験していない人の感想を聞くことができた。また、尼崎クイズは尼崎や防災について、いろいろ知ることができて楽しかった。先生がすごく面白く楽しく交流ができた。』



## 6 参加しての生徒の感想

- ・今回視察をして、阪神淡路大震災や西日本豪雨の被害状況をこの目で見て把握できたので、薄れ欠けていた災害の記憶・災害に対する意識を思い起こすことができました。月日が流れると、どうしても風化してしまい、若い人たちに語り継がなくなってしまうから、それをどうにかしたいと思いました。
- ・今回の研修で、様々な人との交流を通して学んだことがたくさんあり、今後の防災に役立てられるものが多くあったと思います。今回学んだことを防災活動に生かしていきたいです。
- ・今回の研修を通して、防災や災害発生後の活動について、そして、それをどのようにして次世代に伝えるかなどについて学ぶことができました。そして、今までお世話になった皆様へ感謝の気持ちを伝えることができ、とても良かったです。
- ・研修先では不安になることはあまりなく、学べることがたくさんあり、充実したものになった。一概に何が良かったなどとは言えないが、心に残ることが多くあった。交流もすごく楽しいものになり、他校の皆さんも温かく迎えてくれた。
- ・今回の研修では震災で自分たちが経験したことを改めて振り返り、原爆や豪雨災害といった被害を受けた、あるいはそれを乗り越えた地域の人々との交流で、防災・減災意識、地域とのつながりを改めて強く感じることができました。様々な災害の風化が問題となる中で、自分たちはどう伝えていけば良いか、未来の命を守ることがいかに重要かということ学ぶことができ、大変良い経験となりました。

## 7 今後地域防災リーダーとして取り組みたいこと

- ・今後は旧校舎へ来た方々を直接生徒が案内したり、学校で避難所設営訓練を行ったりするなど、もっと向洋高校の防災意識が高まるような取り組みをすべきだと思います。そこで私たちが先頭に立ち、全校生徒を引っ張りたいと思いました。
- ・震災を知らない世代に震災を伝え、その恐ろしさを分かってもらいたい。そこから防災につなげていきたい。保育園や幼稚園などで震災を伝える活動を生徒会や防災委員、VFCが行うのも良いと思います。
- ・震災遺構となる旧校舎で自分の経験を観光客に聞かせたいなと思いました。また、小学生に自分たちの体験や起こった出来事を話したり、映像を見せたりしてから防災訓練をさせたいと思いました。向洋高校の避難訓練も様々なパターンに対応できるようにすべきだと思います。
- ・同じ階上地区にある階上中学校と向洋高校との関わりを深め、両校の防災への取り組みを発表し合ったりして、学校全体として地域防災に取り組みたいです。11月の防災訓練では2校で連携して避難訓練を行うと、互いの防災意識も高められると思います。